

令和6年度

第18回 寒河江市産学官連携交流会

～AI・デジタル技術とこれからのモノ・コト・ヒトづくり～

- AI・デジタル技術が今後の仕事にどうかかわってくるのか -
関心のあるすべての人にお届けする山形大学からのメッセージ

令和6年（2024年）3月28日に、寒河江市、寒河江市技術振興協会、山形大学、山形大学産業研究所の4者による協力協定が締結されました。その先駆けとして実施された技術振興協会企業への経営課題アンケート調査では、モノづくり（生産性向上）、ヒトづくり（人材確保と育成）、コトづくり（新事業展開）に関して「デジタル時代とどう向き合っていくか」について、多くの企業が高い関心を持っていることがわかりました。そこで、山形大学が取り組む**AIデザイン研究と人材育成、デジタル技術とものづくり融合**の取組について、各分野において日本のトップクラスで活躍する講師に、わかりやすく解説していただきます。

「プログラム」

□開会式（13：20～13：35）

□山形大学の産学連携～山形大学産業研究所の紹介を兼ねて～（13：35～14：05）

山形大学産業研究所理事長

山形大学大学院有機材料システム研究科長

教授 伊藤 浩志

□技術振興協会アンケートの結果と山形県内の企業ニーズ（14：05～14：20）

山形大学研究・産学連携推進本部副本部長

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻長

教授 小野 浩幸

講演

□講演Ⅰ（14：25～15：15）

山形大学における工学系AIデザイン研究と人材育成

山形大学AIデザイン教育研究推進センター センター長

山形大学大学院理工学研究科情報・エレクトロニクス専攻

教授 安田 宗樹

□講演Ⅱ（15：25～16：15）

山形大学におけるデジタル技術とものづくりの融合の取組

～山形大学DMN（デジタル・マニファクチャリング・ネットワーク）の紹介～

山形大学インクジェット開発センター センター長

産学連携教授 酒井 真理

2024年 9月19日（木）

講演：13:20-16:15

交流会：16:20-17:00

会場：寒河江市技術交流プラザ 第2研修室

寒河江市中央工業団地153-1

定員：先着80名（参加無料）

※途中の入退場自由

締切

9/9

セミナー終了後にお茶とお菓子による
名刺交換・交流会を予定しています

主催：寒河江市

寒河江市技術振興協会

山形大学研究・産学連携推進本部

公益財団法人 山形大学産業研究所

共催：寒河江市商工会

寒河江中央工業団地振興協会

後援：一般社団法人米沢工業会（山形大学工学部同窓会）

問合せ先：寒河江市技術振興協会

（電話）0237-86-1991

（メール）smcp-1@ic-net.or.jp

※裏面の申込書をご記入の上、FAXでお申し込みください